

## 日本原子力学会 倫理委員会（第 102 回）

### 議事要旨

1. 日 時：2018 年 3 月 8 日（木）13:30～17:40
2. 場 所：日本原子力学会事務局会議室
3. 出席者：大場委員長、三村副委員長、神谷幹事、宇奈手委員、金山委員、辻委員、出町委員、中野委員、中村委員、原田委員、福家委員、布目特別委員（12 名出席）  
北村ワグザバー、菅原ワグザバー
4. 配布資料：
  - 倫 102-1：第 101 回倫理委員会議事要旨(案)
  - 倫 102-2：企画セッションと研究会の中長期運営について
  - 倫 102-3：第 21 回倫理研究会の結果報告
  - 倫 102-4：倫理委員会 2018 年春の年会企画セッションに係る企画・準備について（状況）
  - 倫 102-5：日本原子力学会倫理規程（2018 年 1 月 31 日 第 6 回理事会承認）
  - 倫 102-6：原子力学会総会資料（案）について（倫理活動関係）
  - 倫 102-7：日本学術振興会先導的研究開発委員会「未来の原子力技術」第 2 分科会関係資料
  - 倫 102-8：技術士会倫理関係原稿依頼関係資料

### 5. 議事概要：

(1) 会議冒頭、大場委員長より、今回から神谷委員が幹事として就任した旨の紹介があった。

#### (2) 前回議事録の確認

神谷幹事から資料 102-1 により、前回議事要旨（案）が説明され、以下の修正をすることで承認された。

- ・議事録作成の輪番制については、1 人/回に修正。
- ・倫理研究会の結果報告について、参加者への事例集寄贈との記載は削除。
- ・未来原子力技術委員会の資料はダウンロード不能のため、ML で共有との記載は削除。
- ・その他、誤字等を修正する（倫理規程改訂→改定等）。

#### (3) 倫理委員会中長期運営計画の確認

三村副委員長から資料 102-2 により、倫理委員会の中長期運営を見える化した活動計画について説明があり、内容について確認した。

- ・担当委員名は今回入れていないので、今後入れたもので確認していく。
- ・倫理研究会は、2018 年度以降は 2 回/年実施とし、企画セッションのフォローアップか事例集を活用した WS なのかを、都度検討。
- ・2020 年に倫理規程改定を行う予定であることを追記する。現状の様式で改訂準備の工程を入れる。なお、次回改定では、研究者の倫理も考慮する必要があり、企画セッションでの議論も反映していくイメージで検討を進める。
- ・破砕帯評価の事例検討では、発信内容検討ではなく、発信内容の方向性検討とする。
- ・この活動計画は本委員会の中長期運営を「見える化」することが目的であり、細かな議論について

ては、それぞれの議題において実施するもの。当面、毎回の委員会で共有していくこととした。

#### (4) 人事について

大場委員長より、委員候補として電力中央研究所の菅原氏の紹介があり、今回オブザーバー出席の菅原氏からの自己紹介があった。菅原氏の委員就任について、委員会として了承した。正式には、3/20の学会理事会を経て承認されることとなる。

#### (5) 2017年度倫理研究会（2月19日開催）の結果報告

福家委員から資料102-3により、第21回倫理研究会の実績、アンケート結果、決算等について報告があり、今後の研究会運営に向け議論した。

- ・空調等により会場内の寒暖の差が大きかったという問題はあったが、今回の会場については非常によかったとの評価。
- ・JR東日本 片方氏の講演のように、他産業の話は非常に参考になったとの感想あり。
- ・事例集に関して、トラブル事例と良好事例を1冊にまとめるべきとの提案は貴重なご意見。
- ・倫理や安全文化（安全のための組織文化）の定義に関して、個人、組織との関係は？、組織マネジメントとは？とのご意見は非常に深い内容でもあり、今後継続的な議論が必要ではないか。伊藤委員からメールで紹介のあったJAEA理事長のNRAとの対話資料や、電気学会技術者フォーラム資料等も参考に、秋の企画セッションにも反映していく。
- ・休憩時間に質問票を配布し、ポイントを整理してパネルディスカッションを行ったことで、効率的に進めることができた。次回以降も採用したい。一方で、今回はモデレーターの力量に頼ることができたが、質問票の配布・回収方式は、モデレーターがパネルディスカッション前の最後の講演中に質問票を確認し、パネルディスカッションに備えるというタイトな段取りになるという課題がある。

#### (6) 2018年春の年会 企画セッションについて

神谷幹事から資料102-4により、2018年春の年会にて行う企画セッション実施にかかる当日の役割分担等について確認した。

- ・当日の役割分担をそれぞれ割り振った。決定内容は別途周知する。
- ・配布資料については、予稿を配布することが学会からNGが出たので、今回提案のあったレジメを配布することとする。また、アンケートの内容については、本案にて了承された。
- ・各講演の内容は固まっていると思われるが、本企画の趣旨を考慮し、ハードの話に偏らないように再度講演者に連絡する。

#### (7) 2018年秋の大会 企画セッションについて

本日、本件に対する提案はなく、次回議論することとした。

#### (8) その他

##### (8)-1 倫理規程改定結果報告

大場委員長から資料102-5により、倫理規程の改定について1/31の学会理事会において承認されたとの報告があった。

- ・今後、改定履歴の記載、HP ダウンロード、改定のポイントの作成が必要。
- ・既刊の事例集（改定前の規程を記載）の扱いなどの改定に伴う諸対応について議論。
- ・基本はHP上に改定前後表を掲載することで対応する。また、HPのトピックスでアナウンスし、そこで事例集の変更点についても周知する。新たに販売する事例集については、変更点のメモを挿入するなどにより対応する。
- ・事務局会議室に掲示される倫理規程憲章の額について、改訂版を印刷し、差替えを実施する。

#### (8)-2 2018 年度総会資料（倫理活動関連）

神谷幹事から資料 102-6 により、原子力学会 2018 年総会資料（倫理活動関係）の案について説明があり、コメントを踏まえ修正のうえ学会事務局に提出することとした。

#### (8)-3 不正問題について

本日の報告はなく、次回以降とした。

#### (8)-4 安全文化・モラル教育に関する受託業務について

大場委員長から、北陸電力㈱から原子力学会として受託し、大場委員長が講師として派遣されている北陸電力㈱の安全文化・モラル教育について、来年度も引続き依頼があり、3/11 の学会企画委員会に付議され決定の予定である旨報告があった。

併せて、今年度の研修受講者のアンケート集約結果について、参考として紹介があった。

#### (8)-5 電気学会第 11 回技術者倫理フォーラムへの参加報告

大場委員長から、3/1 に参加された電気学会第 11 回技術者倫理フォーラムの概要および、大場委員長が発表された「組織文化」に関する内容の紹介があった。

#### (8)-6 日本学術振興会分科会への参加報告

中村委員から資料 102-7 により、日本学術振興会委員会「未来の原子力技術」の活動状況について紹介があり、原子力災害に関連して考えさせる内容の講演もあり、今後これに関する議論も行っていきたいとの意見があった。

#### (8)-7 技術士会からの原稿依頼について

大場委員長から資料 102-8 により、技術士会から機関誌（月刊「技術士」）において「原子力学会の倫理活動について」執筆してほしいとの依頼について紹介があり、依頼に基づき執筆することとした。

#### (8)-8 倫理委員会 HP 更新に関して

宇奈手委員から、倫理委員会 HP の更新に関しての状況について、今後のことも考えると専門性のある方でないと難しい旨の報告があり、とりあえず専門業者に見積りを請求することとした。

#### (8)-9 委員会体制について

大場委員長から、今後の委員会体制として、教育 WG を検討していきたい旨の紹介があった。

(8)-10 倫理規程の参考書籍リストに関して

中村委員から、倫理規程の理解を深めるために参考となる書籍を委員会 HP に掲載する件について、倫理規程等に対応した文献を整理中である旨紹介があり、案が出来次第、各委員にコメントを依頼することとした。

(8)-11 再稼働に係る調査、承認の事例集について

本日の報告はなく、次回以降とした。

6. ミニ講演会：

布目特別委員から、学会の広報情報委員長としての立場も含めて「学会における広報、情報伝達と倫理規程」と題してミニ講演が行われ、以下の観点について意見交換を行った。

- ・ 広報、情報伝達に関する規程およびポジション・ステートメント WG 運営要領と、倫理規程や倫理委員会との関係について
- ・ 広報情報委員会からの情報発信、会員からのご意見との関係について
- ・ 学会理事会との関係について

7. 次 回：

2018年4月23日（月）13:30～17:30、日本原子力学会事務局会議室

以 上